

データサイエンス学部卒業論文審査に関するルールについて

1. 審査方法について

- 1) 学位申請者は、データサイエンス学部が指定する期間内に、卒業論文及び所定様式を提出する。
- 2) 学位申請者は、データサイエンス学部主催の公開発表会で卒業論文の内容を発表し、最終試験を受ける。
- 3) 審査員は、2の審査基準に基づき合否判定を行い、その結果をデータサイエンス学部長に提出する。データサイエンス学部長は、データサイエンス学部教授会の議を経て、学位論文審査の結果を学長に報告する。

2. 審査基準について

卒業論文及び公開発表会における最終試験の内容に対して、以下の基準で総合的に審査を行う。

評価は100点満点とし、60点以上を合格とする。

- 1) 研究テーマの妥当性
学術的・社会的意義が認められる研究テーマが設定され、研究目的が明確であること
- 2) 研究方法の適切性
研究方法が研究テーマ・目的に合致しており、データサイエンスにおける適切な手法を用いて資料や情報の収集、理論的展開や分析等が行われていること。
- 3) 論述・論旨の明確さ
既存研究との関連が明確であり、データサイエンスの知見を生かした議論が論理的に展開された上で、説得力のある結論が導かれていること。
- 4) 論文作成能力
論文の体裁、文章と数式の表現、図表を含むデータの示し方が適切であること。
- 5) 学識
データサイエンスに関する十分な学識が示されていること。
- 6) 卒業論文発表会における内容・質疑応答
卒業論文発表会での発表と質疑に対する応答が論理的かつ明解に行われること。

3. 審査体制について

学位申請者の指導教員1名が審査を行う。

4. その他

卒業論文は、データサイエンス学部が別に定める卒業論文の形式に従って作成すること。